

特別講義（2単位）

担当者氏名 丹羽 光一、久保田 紀久枝、相根 義昌、佐藤 広顕、戸枝 一喜、中川 純一、渡部 俊弘、遠藤 明仁

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

専門分野に関連の深い国内外の学会・研究会・シンポジウムなどで発表し、その内容、質問への対応、自分の意見などを詳細にレポートにまとめる。または、重要な学会等に参加して、関連する発表の内容と質疑応答、自己の意見などを詳細にレポートにまとめる。さらにレポート発表を研究科全体のセミナーで行う。そして自分の研究について発表できること、および他者の発表について客観的に説明できるようになることを到達目標とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

作物生産	自然生態系	植物資源	バイオテクノロジー
分子生物学	動物資源	家畜生産	発生工学

◆授業の進行等について

	テ ー マ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	学会要旨の作製とエンタリー（第1週）	科学的な表現、簡潔な文章構成を指導教員の添削を通して学ぶ。	学会発表にあたっては指導教授と綿密なディスカッションを行うこと。発表練習は3回以上行うこと。
2	発表準備（第2-6週）	発表内容をパワーポイントで作製しながら、指導教員の添削を通して表現方法と科学的な表現を学ぶ。	他の研究者の発表を聞いた後にはすぐにレポートをまとめる。事前に論文を調べ、バックグラウンドを説明できるようにする。
3	学会発表（第7-11週）	発表原稿を作り、論理的な説明となるように原稿を繰り返し添削指導する。研究内容の発表を行う。	
4	学会参加（第12-13週）	真剣に聞き、発表内容に沿った質問をする。	
5	レポート作成（第14週）	適宜文献を参照し、発表の要約を作成する。	
6	レポート発表（第15週）	参加した学会の自信の発表内容と、注目した発表数演題の内容を紹介する。	
	（第1-15週は、履修者の指導教員が担当する。）		

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名/著者/発行所（発行年）

指導教員から適宜配布される

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所（発行年）

医学・生物学研究者のための絶対話せる英会話/東原和成 他/羊土社（1999）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

発表の内容と、発表後の討議により理解度を判断して評価する。

◆オフィスアワー

昼休みに各指導教員の居室を訪ね、不在の場合はメモを残す、メールで質問するなどの対応をする。

◆その他受講上の注意事項